

地域	岡山県津山市	認定日	平成24年10月1日	通巻番号	6 - 24 - 038
----	--------	-----	------------	------	--------------

④ 新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

津山産小麦を原料にした津山餃子等のご当地グルメの開発及び販路開拓

津山産小麦を原料にしたご当地グルメによる地域活性化を目指し、津山餃子や餃子の皮の開発、製造及び地域の飲食店等を含めた販路開拓を行う。

連携体

農林漁業者 (有)紫竹カントリー(農業)

転作作物としての小麦の生産において、加工食品に適した品種の増産を行うとともに、原料の安定供給を行う。

中小企業者 (株)ペブルフードオペレーション (飲食店)

中華麺や餃子の製造技術を用いて津山産小麦を利用した加工食品や食材の開発・販売を行う。

連携参加者 つやま新産業創出機構

津山食料産業クラスター推進協議会として商品開発、販売促進活動の支援を行う。

サポート機関等 (独)中小企業基盤整備機構中国本部

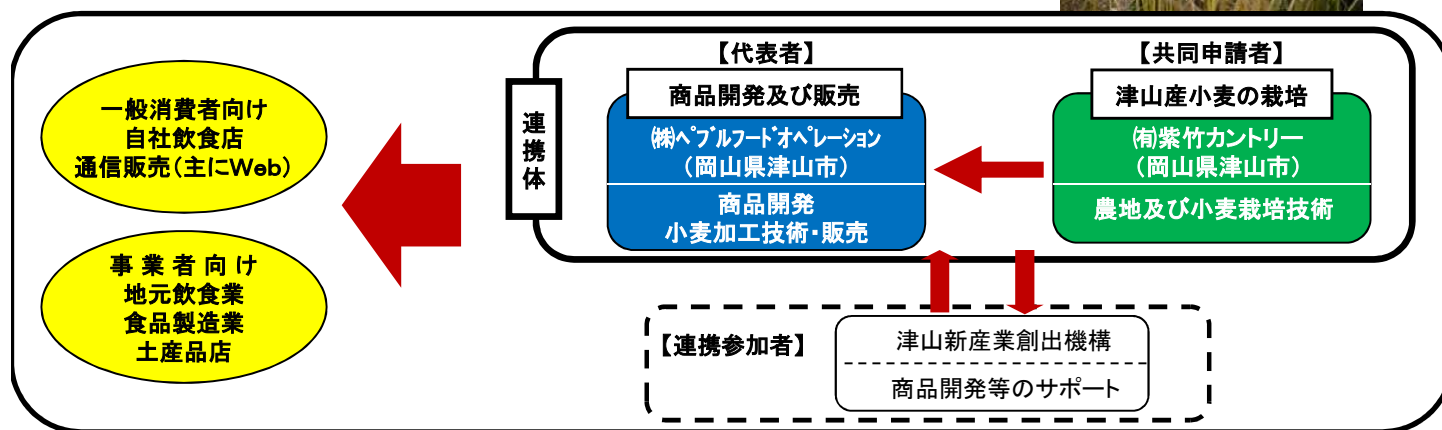
連携の経緯

飲食店を経営する(株)ペブルフードオペレーションと農業者である(有)紫竹カントリーは、ともに津山食料産業クラスター協議会に加入しており、地域資源である津山産小麦を原料にした餃子等の加工品を共同開発してきた。こうした中、更に新商品・新食材の開発を目的として両社が連携するに至った。



連携に当たっての課題や工夫等

現在本事業において主に栽培している小麦の品種は薄力粉であり、一般的に使用される輸入品の小麦粉に比較し、餃子の皮や麺用としては粘度が不足している。そのため、生産者においては、より粘度の高い小麦の品種の栽培が必要となる。



連携による効果

農林漁業者 5年で370万円の売上増加、転作田の有効利用

栽培技術の向上を図っていくことにより収益性の改善が見込めるとともに、地域ブランドとして認知度向上が期待される。

中小企業者 5年で5,000万円の売上増加、収益性の改善

国産小麦を使用した加工食品は希少であり、またご当地グルメを開発することにより、収益性の向上が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名	: 株式会社ペブルフードオペレーション	所在地	: 岡山県津山市上河原216-4
TEL	: 0868-24-2987	FAX	: 0868-24-0341
E-mail	: hirofumi.k@pebblefood.com	ホームページ	: http://www.pebblefood.com/